Snorkel高所作業車

S4732E

月例検査要領書

Snorkel

はじめに

・高所作業車を事前に満充電にしておく。また充電器で満充電を確認したうえで電源ケーブルを抜く事

・検査前に以下のものをあらかじめご用意ください

- ・テスター
- ・比重計
- ・複数サイズのレンチセット（モンキレンチでも可）
- ・グリス
- ・CRC等の潤滑浸透剤
- ・パーツクリーナー
- ・ウエス
- ・その他バッテリー液など必要に応じてご用意ください

作業準備

snorkel

①車体・車軸

車体や前後のフック、溶接個所に亀裂や割れが無いか確認

②タイヤ

前後のタイヤに亀裂や摩耗、取付ボルトに緩み等がないか確認

③油圧モーター

前輪内側、カバーの
裏にあります

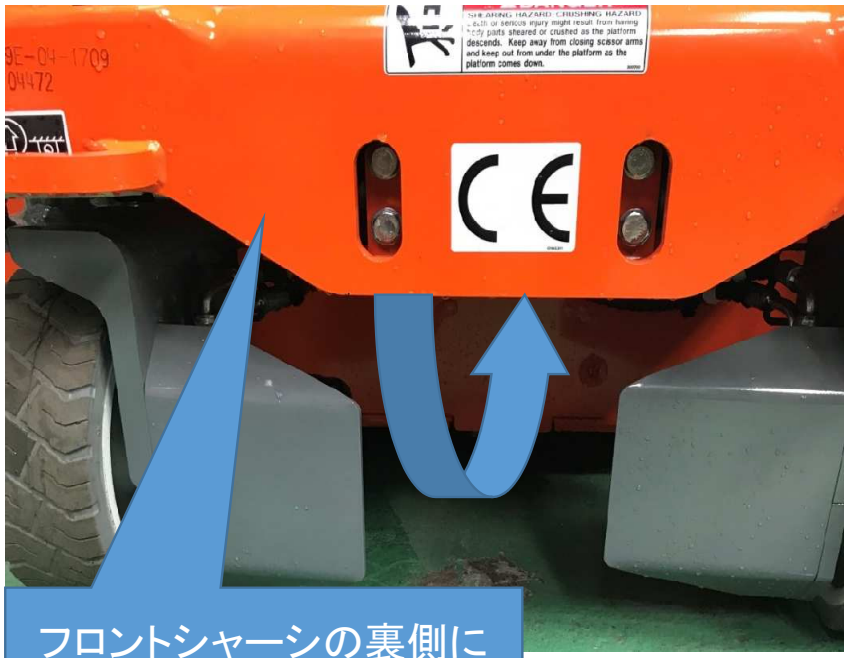
ホースの取付配管や
モーター本体から漏れ
等がないか

油の漏れやボルト緩み、汚れや錆がないか

④走行装置

リンク曲がりや破損、ピン摩耗等がないか

⑤かじ取り装置



シリンダの油漏れ、ピン摩耗、給油

車体および走行装置

snorkel

⑥ブレーキ解除

作動、バルブおよびハンドポンプの状態確認

・ブレーキ解除が正しくできるか取説に従って操作確認

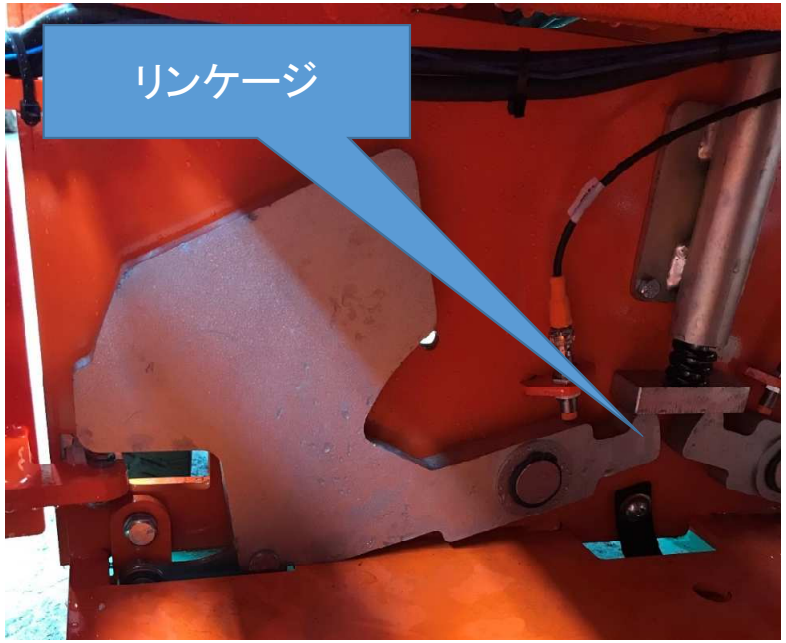
⚠ ブレーキを解除する際は平たんな傾斜の無い場所で行う事。

タイヤに歯止めをかける等、逸走防止措置を講じる事。

⑦ポットホールプロテクタ

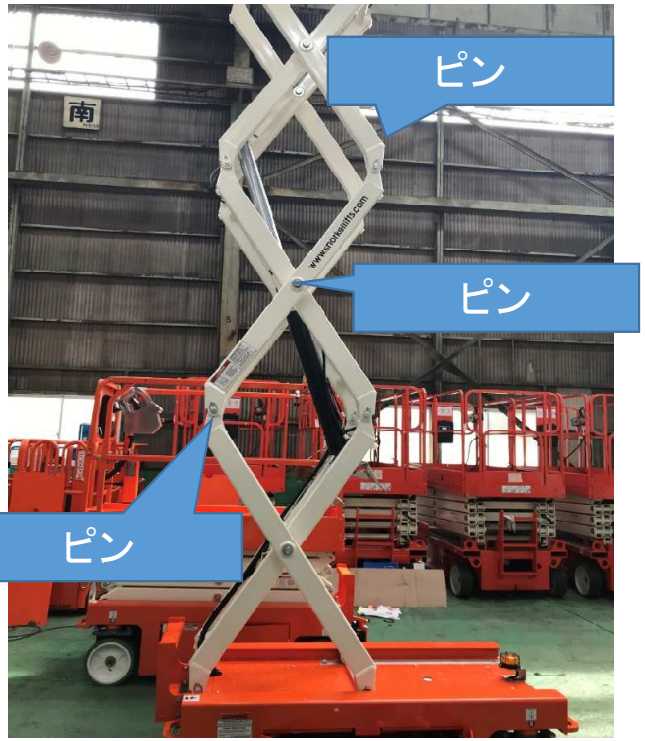
リフトを上昇させるポットホールプロテクタを動作させる

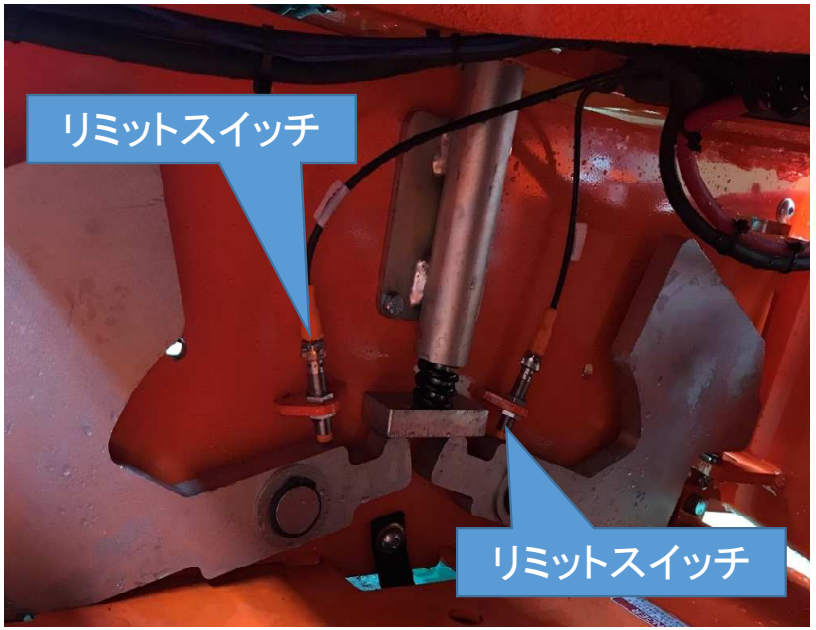
サイドのメンテナンスハッチを開け車体内部のリンケージを確認する（車体内部前方にあります）



リンケージに異常がないか確認する

⑧シザーリフト





変形、溶接破損、ピン摩耗、ボルトナット緩み、ローラー摩耗

・リミットスイッチ2つに損傷がないか

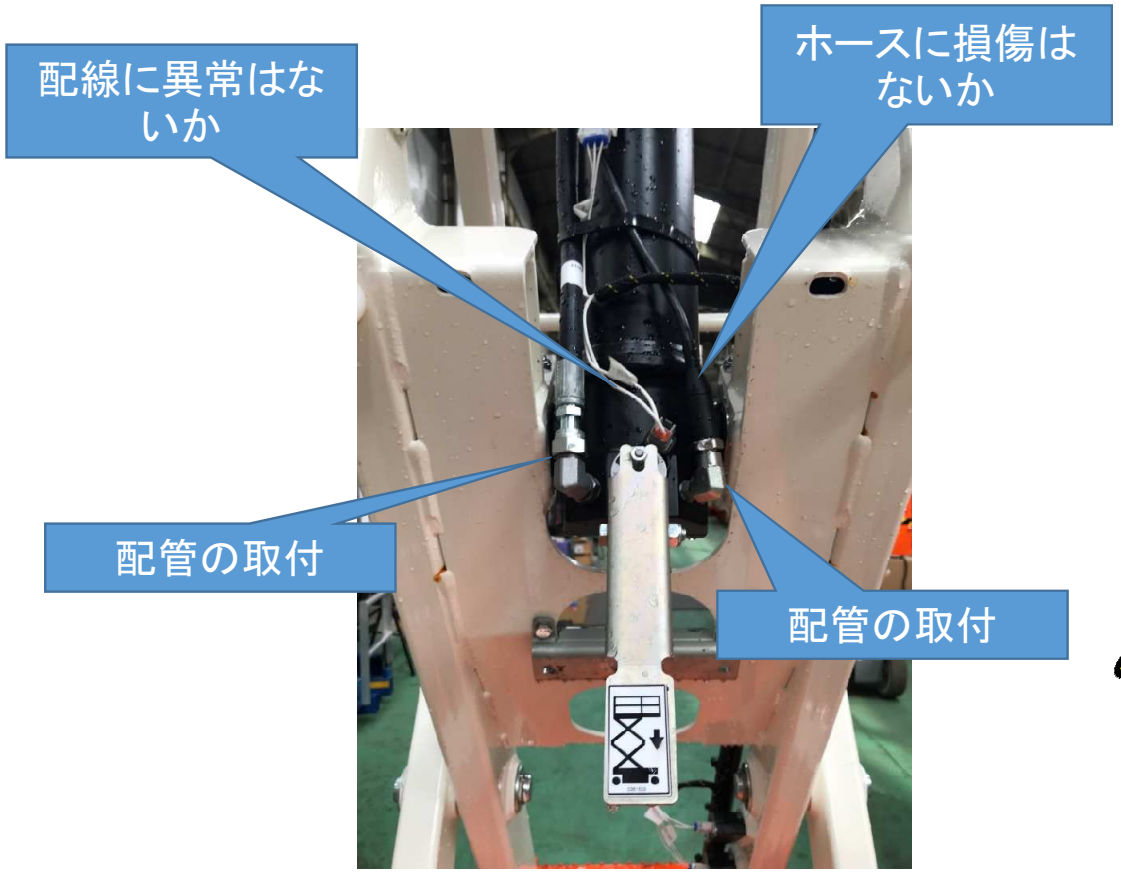
⑨シリンダ

・シリンダの取り付け状態の確認

・シリンダからの油漏れはないか

⚠ 作業床を上昇させて点検を行う場合、万一に備え安全支柱を使用し挟まれ事故を防止する事

⑩配線、配管

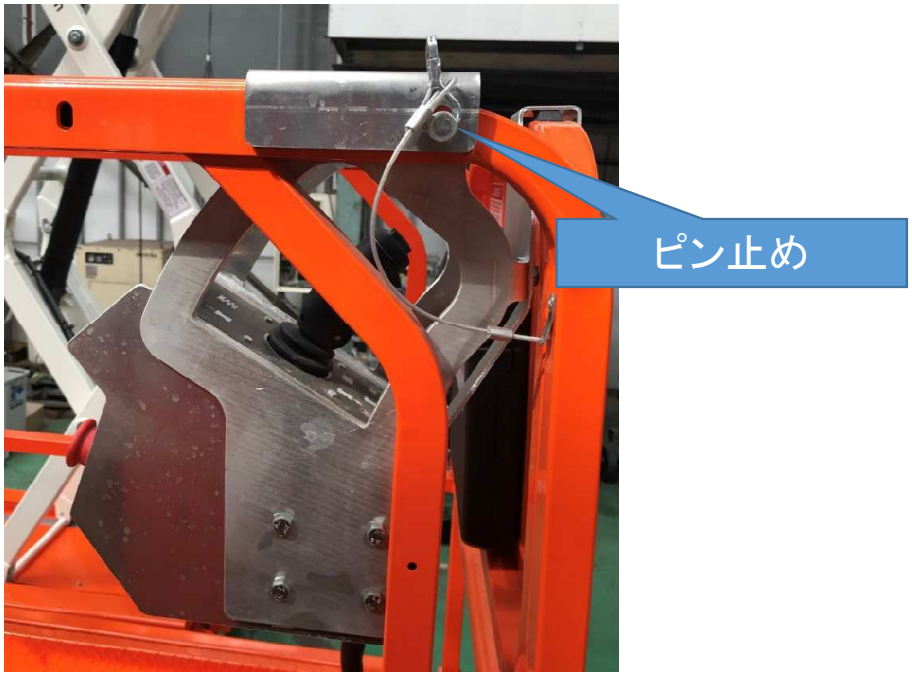


・配線、配管、ホースに油漏れ、損傷等異常はないか

作業床を上昇させて点検を行う場合、万一に備え安全支柱を使用し挟まれ事故を防止する事

⑪フレーム

・作業床フレームに変形、溶接破損はないか。

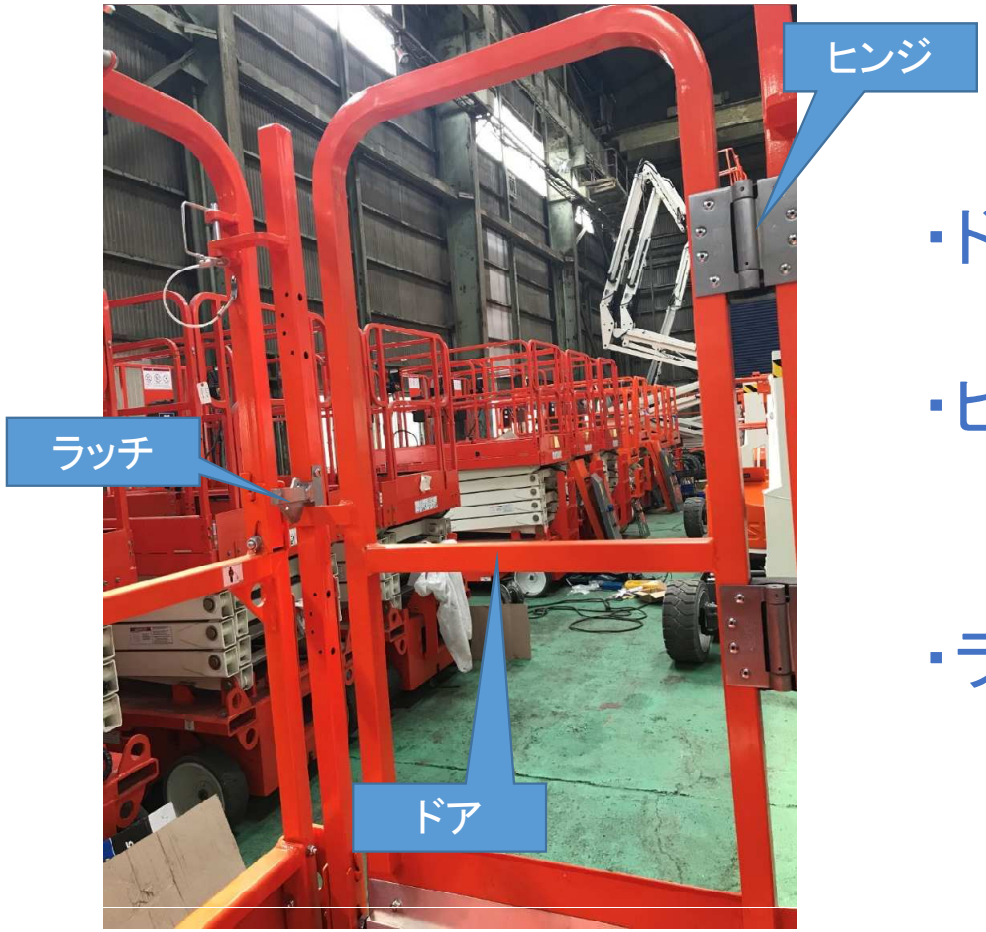


昇降装置は適切に取り付けられているか。ガタ等ないか

⑫手摺り

・手摺に変形、破損はないか
・ボルトナット緩みはないか
・中桟および幅木の破損変形はないか

⑬出入口

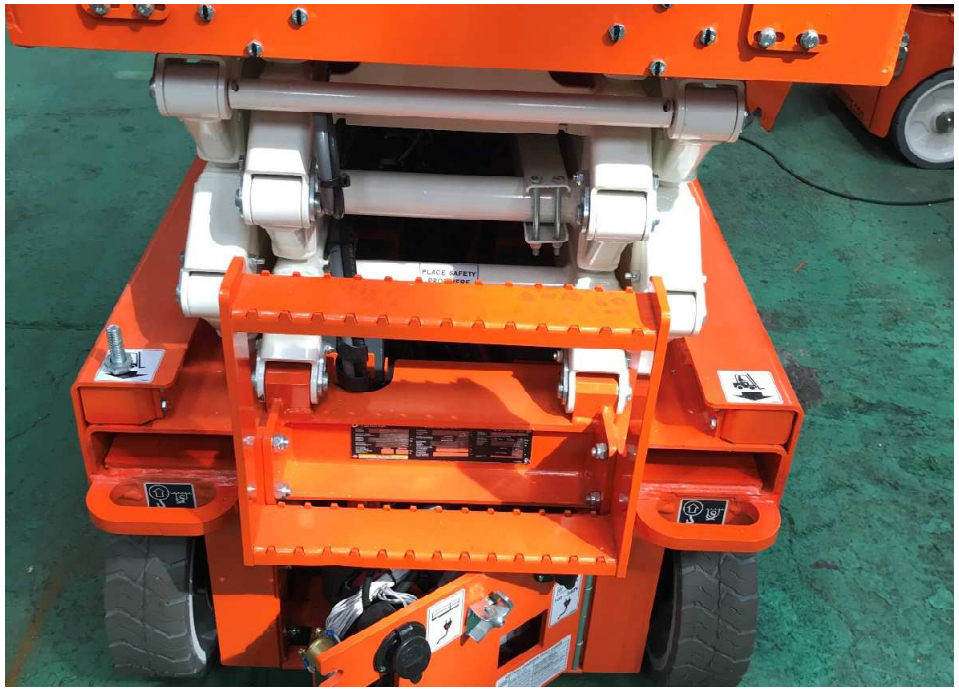


・ドアに変形破損はないか

・ヒンジに変形破損はないか。確実に取り付けられているか

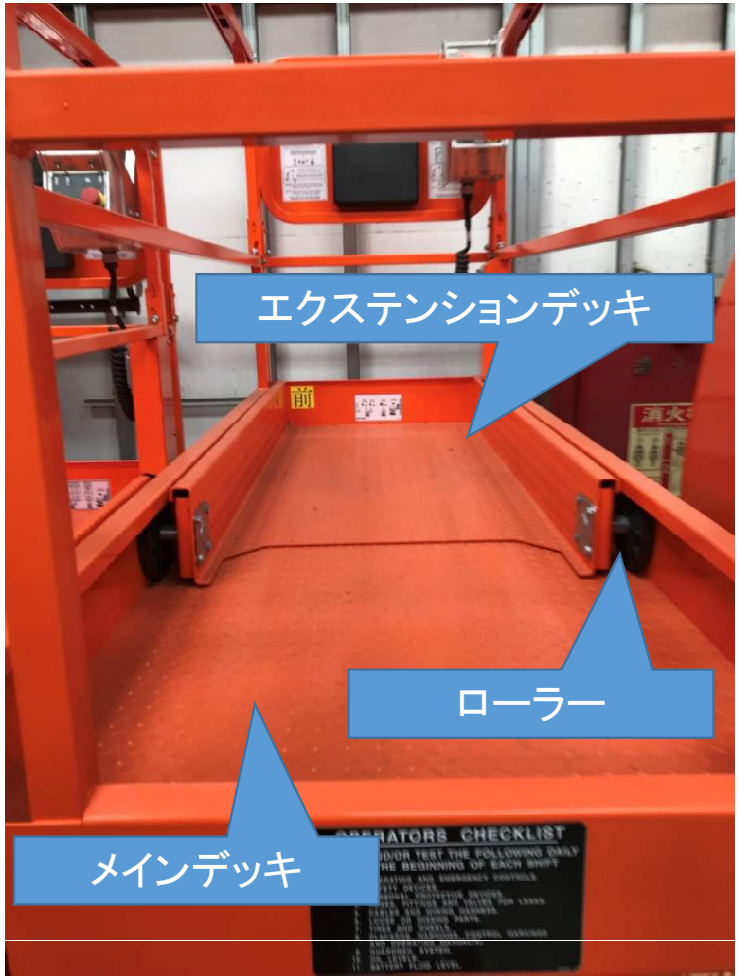
・ラッチに変形破損はないか。ドアを閉めた状態で確実にロックされるか

⑭ステップ・昇降設備



変形や損傷、ボルト緩み等はないか

⑮メインデッキ　⑯エクステンションデッキ



・メインデッキ作業床に腐食、錆、破損はないか

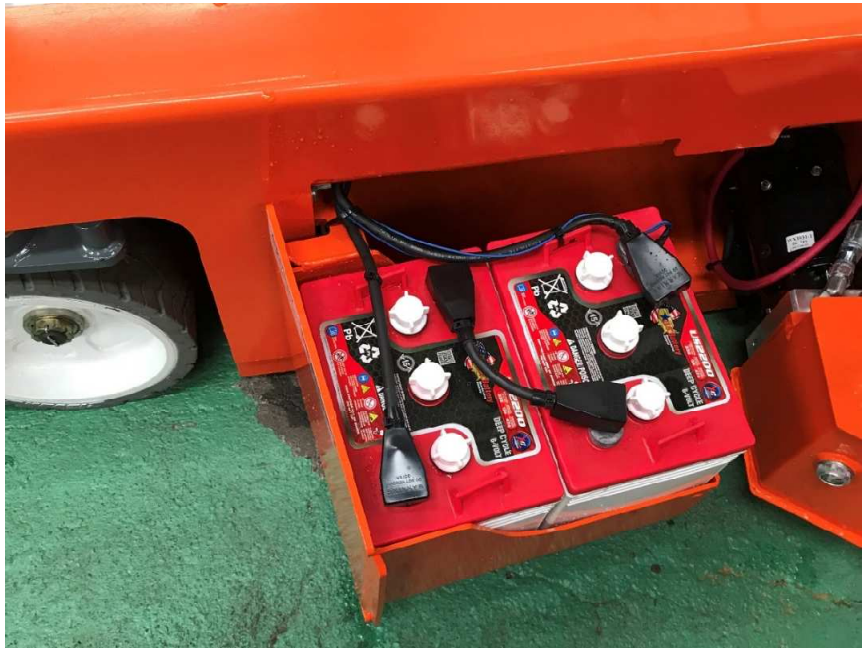
・エクステンションデッキも同様に異常はないか

・エクステンションデッキのハンドルロックおよびガイドローラーに異常はないか

作業床

snorkel

⑰バッテリ



・バッテリー液量は適切か

・バッテリー比重は適切か

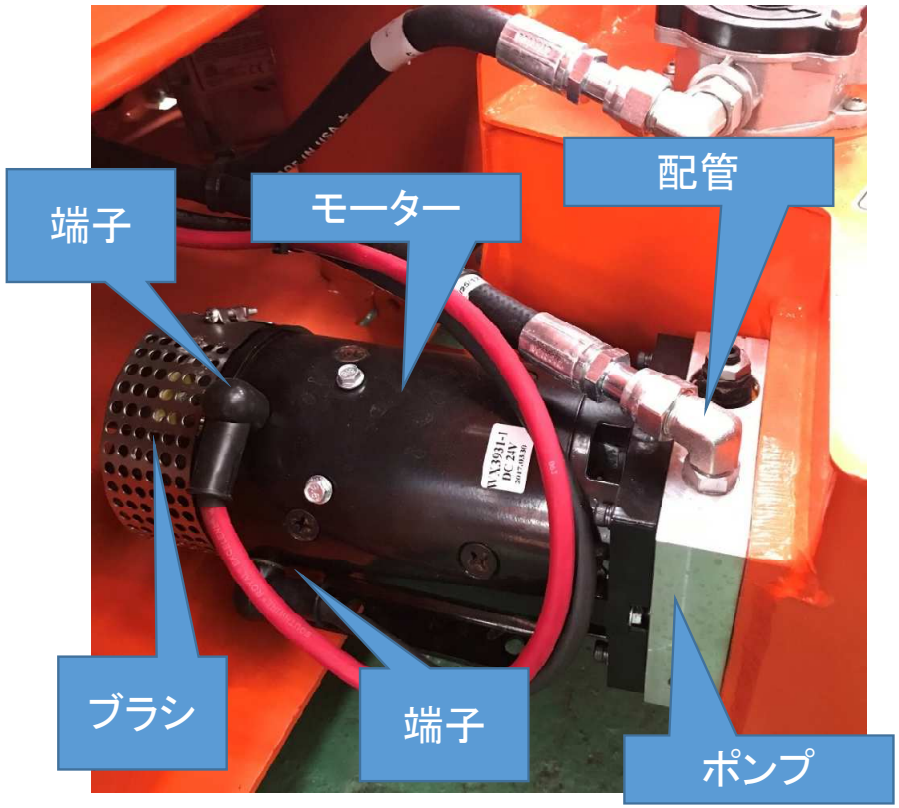
・端子緩み、腐食、変形はないか

※左右合計4個とも確認する事

⚠ バッテリーに入っているバッテリー液には希硫酸が含まれるため、身体に触れた場合はすぐに洗い流すこと。

⚠ 比重は満充電で1.27～1.28を目安とする

⑱直流モーター　⑲油圧ポンプ



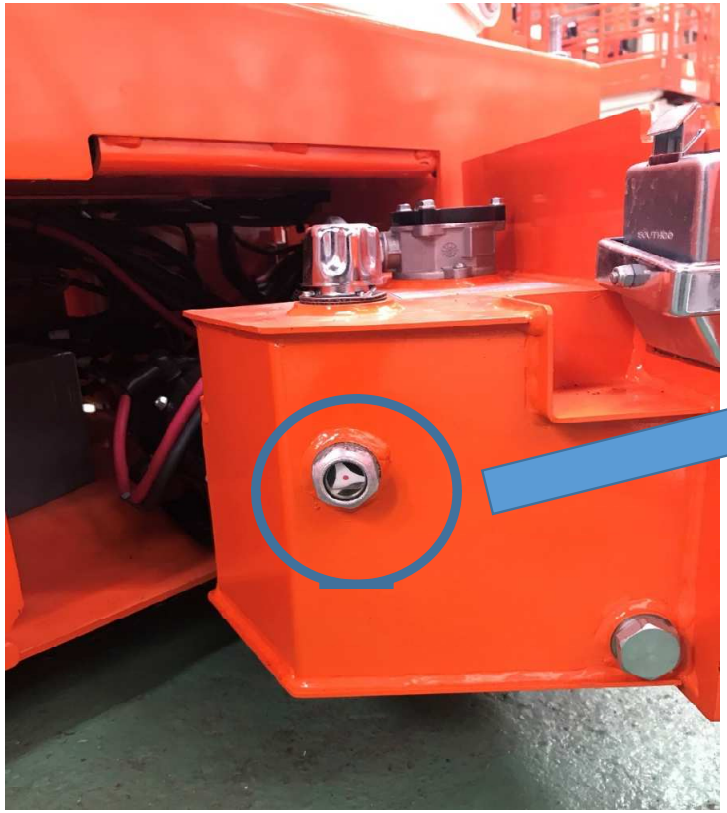
メンテナンスハッチ内にある

・モーターの汚れ、ブラシ摩耗、端子緩みはないか

・ポンプの配管緩み、油漏れはないか

・モーターとポンプのつなぎ目、ポンプとタンクのつなぎ目から漏れはないか

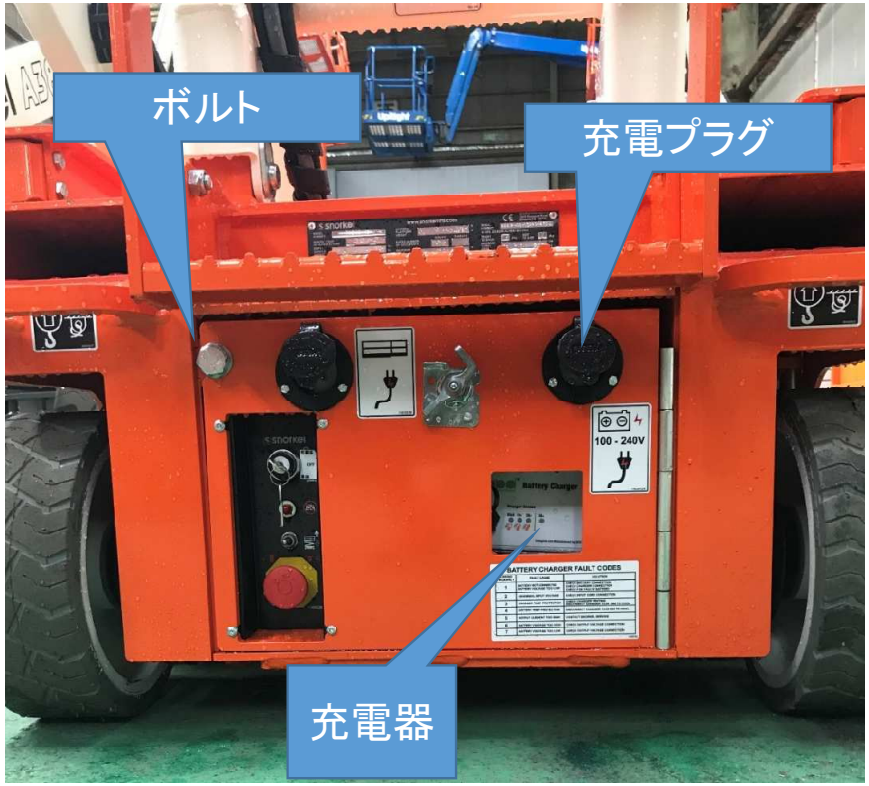
⑳作動油

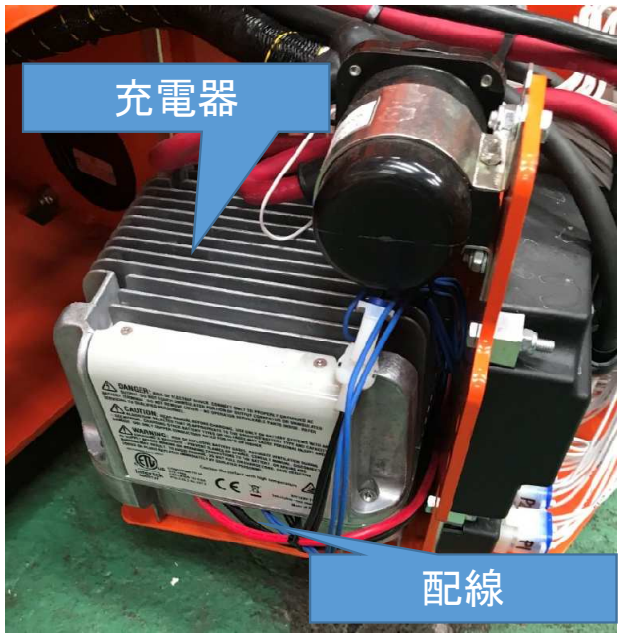


・作動油の量は適切か
・汚れ、漏れはないか
・フィルタ汚れはないか（年に一度交換推奨）

メンテナンスハッチ内にある

㉑充電器





後部乗り込み口の下にある

・ボルトを外すと開閉可能です

配線等に異常はないか

充電器の動作に問題はないか

㉒作業床操作盤

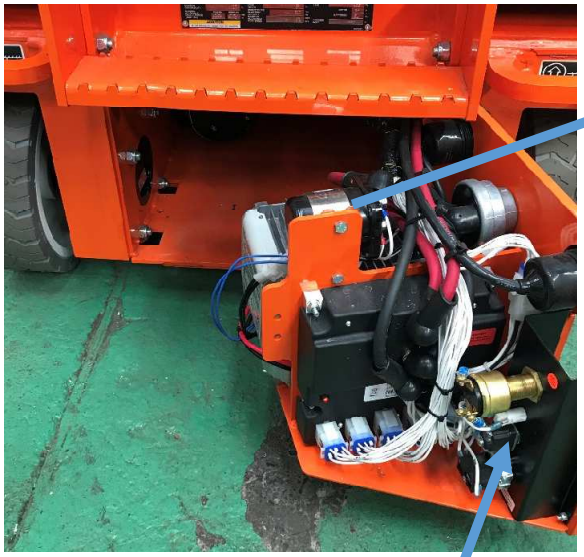
・盤/機器の汚れ、破損の確認

・配線の取付、断線等ないか確認

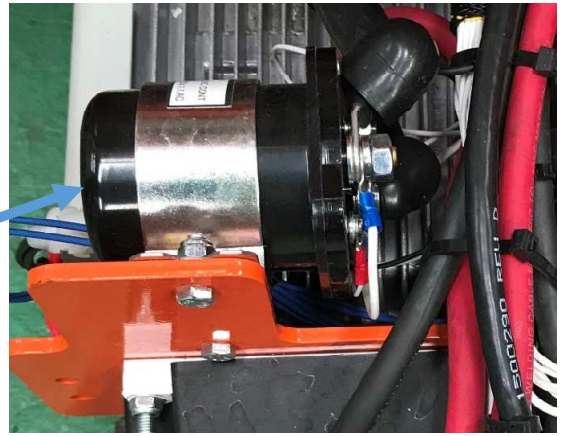
配線とコネクタ

㉓車体側操作盤　㉔リレー

・盤/機器の汚れ、破損の確認



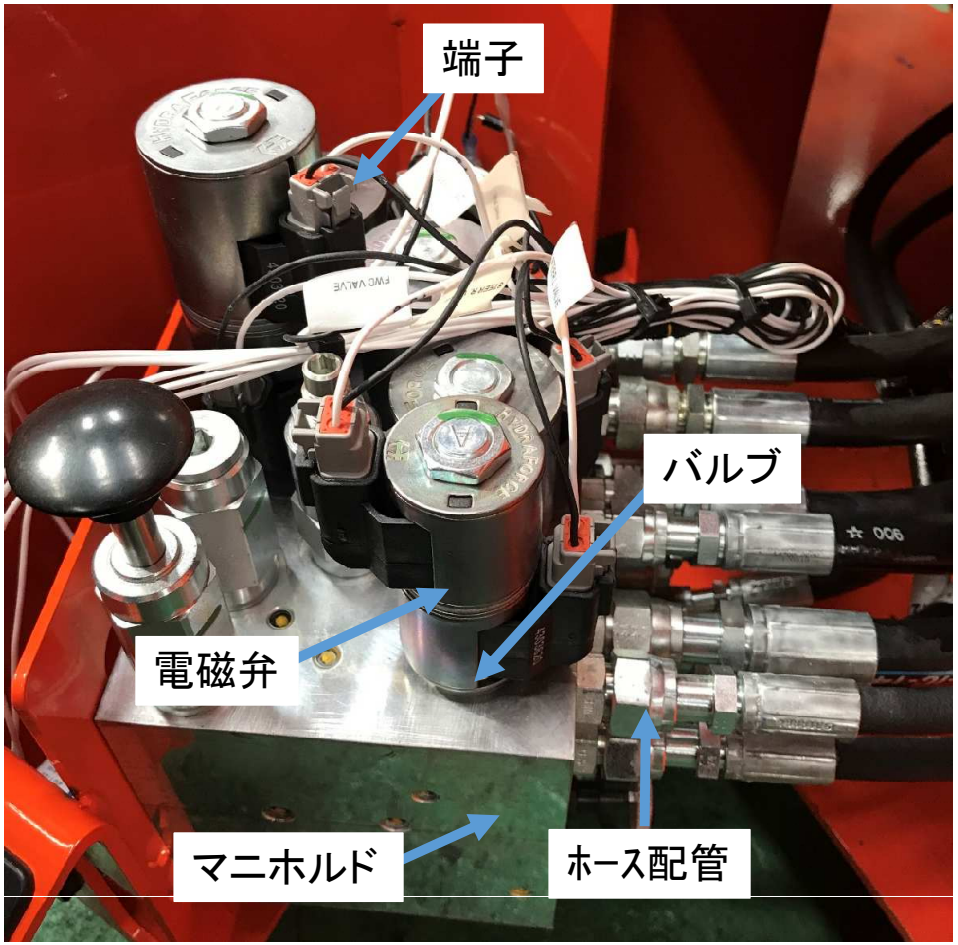
配線とコネクタ



リレー

・配線の取付、緩みや断線等ないか確認

㉕油圧マニホルド　㉖電磁弁



・汚れ、油漏れ、端子緩みが無いか

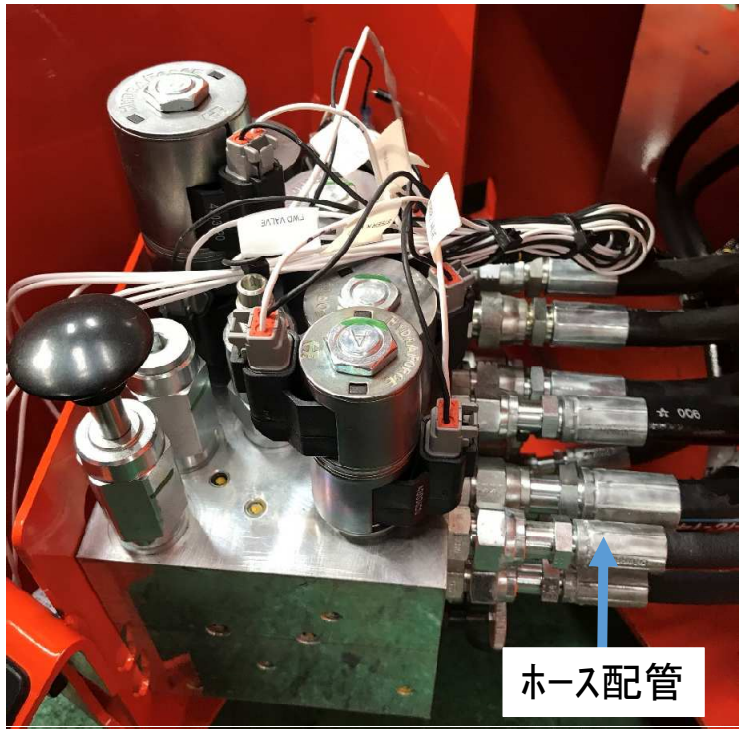
・各バルブのマニホルドへの取付け部、漏れ損傷等確認

・油圧ホース配管のマニホルドへの取付け部、漏れ損傷等確認

・電磁弁の端子抜け/緩みの確認

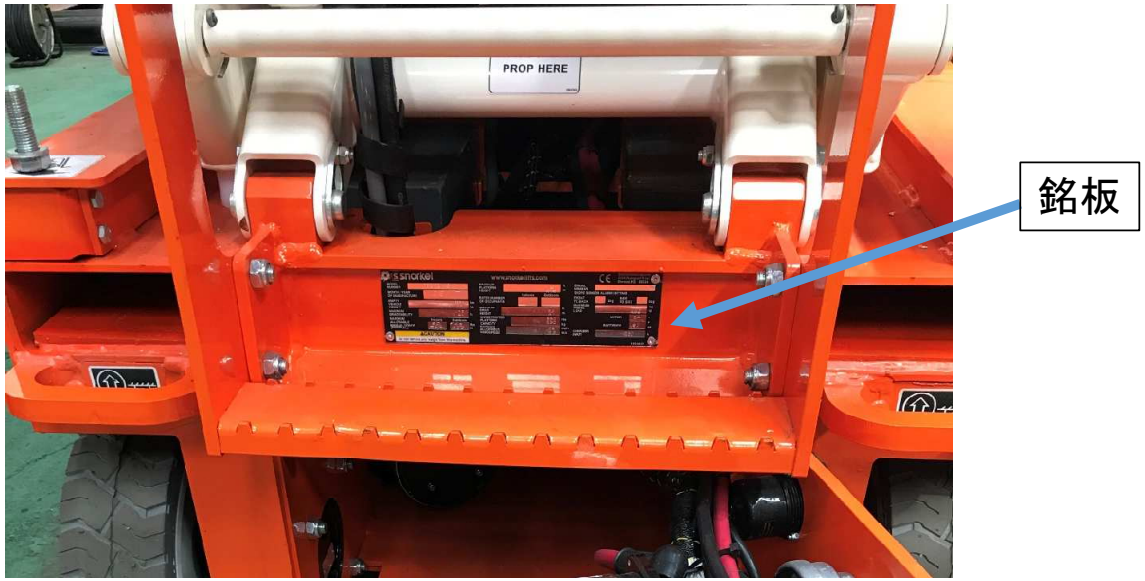
㉗配線配管　㉘各種センサ

・各部油圧ホース/配管の損傷、油漏れ等はないか
・各部センサ端子に異常はないか



・センサはシザース内側にもあります

㉙銘板



・銘板に汚れは無いか、内容は判読できるか

㉚傾斜角規制装置　㉛過積載規制装置

傾斜角規制装置

傾斜地やジャッキを使って車体を傾斜させ、機体が上昇しない事を確認します。

過積載規制装置

作業床に定格+10%の積載荷重を掛けた状態で上昇しない事を確認します。

㉜安全弁　㉝走行警報装置

安全弁

※過積載をセンサで検出しないタイプの場合

・作業床に最大積載+10%程度の荷重を載せます。
・モーターは動作するが、圧力がかからず作業床が上昇しない事を確認します。

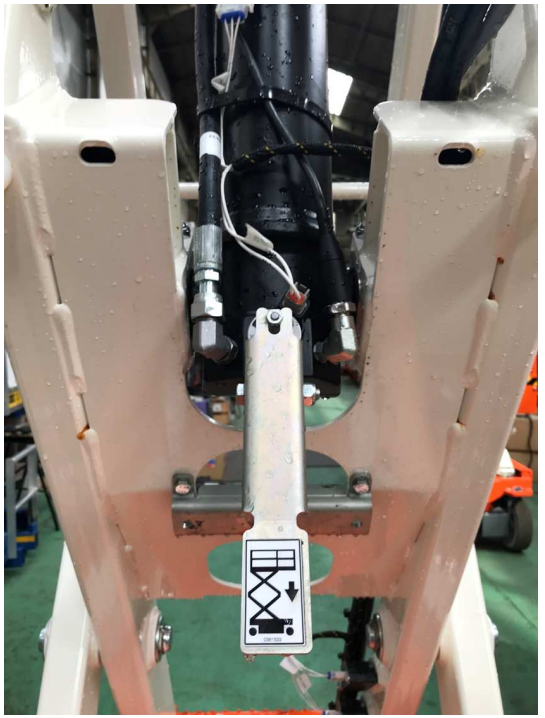
走行警報装置

・走行時アラームが設定されている機体では、走行操作時に正しく鳴動するか。またホーンが正しく鳴動するか

・走行時アラームが設定されていない機体では、ホーンが正しく鳴動するか

㉞非常停止装置　㉟緊急降下装置

・ボタンを押して動作がしなくなるか
・ボタンを引き出して動作できる状態になるか



・緊急降下装置を操作し、降下ができるか確認

⚠
身体を車体で挟まないように注意

安全装置作動確認

snorkel

㊱走行速度規制装置

・作業床を上昇させる

・リフトから走行に切り替える

・走行操作を行い、低速にしかならない事を確認する

㊲作業床自然降下

自然降下

下部操作装置にてリフトを上昇させる。

シリンダにマーキングする等、降下した場合に確認できるようにしておく。

１～２時間程度時間をおいて降下が無いか確認する。

㊳上昇　㊴降下　㊵クッション降下

・上昇：上昇操作を行う。異音がないか、速度に問題はないか。

・降下：降下操作を行う。異音がないか、速度に問題はないか。

・クッション降下：一番下まで降り切る際に問題はないか。

㊶高速走行　㊷低速走行　㊸ブレーキ作動　㊹制動

・高速走行：作業床格納状態で高速走行となるか

・低速走行：作業床上昇状態で低速走行となるか

・ブレーキ作動①：走行操作入力でブレーキが解除されるか（引きずる感じはないか）

・ブレーキ作動②：走行操作解除でブレーキは自動的にかかるか

・制動：ブレーキが動作してから車体はすぐに停まるか

㊺操向

・走行時にステアリング操作ができるか

・停止時にステアリング操作ができるか

THANK YOU

Any Questions?

snorkel

www.snorkellifts.com

ご不明な点は下記へご連絡ください

エイハン・ジャパン株式会社
東京都港区芝浦3-15-2山本ビル3F
Tel : 03-5765-6841
Fax : 03-5765-6840